

# 富士のさと 親子で遊び隊

令和7年1月25日(土)～1月26日(日) 1泊2日



## 1.趣旨

ひとり親家庭の子供たちが、普段では体験できない活動に挑戦するとともに、規則正しい生活習慣や所内外での活動を通じた成功・失敗体験から学び、自立していく上での自信を育む機会とする。また、ひとり親の悩みを同じ境遇の親同士で共有することにより、子育てへの前向きな気持ちを高め、子供との交流を通して親子の絆を深める。

## 2.参加者

ひとり親家庭の子供とその保護者(10家族 23名)

## 3.会場

国立中央青少年交流の家、富士ミルクランド、松下牧場

## 4.事業内容

### 【事業1日目】1月25日(土)

#### (1) はじまりの会(アイスブレイク)

「自己紹介じゃんけん」「ジャンボじゃんけん」「みんなで地図作りゲーム」を行い参加者の緊張をほぐすことができた。



アイスブレイク

#### (2) 買い物会議

「買い物」「鍋づくり」に向けた作戦会議を親子とボランティアで行った。「食べきれぬ量」や「値段」を意識しながら計画をした。親子でお互いの好きなものを話し合いながら選び、計画をする様子が見られた。

#### (3) 買い物

子供だけで「夕食(鍋づくり)」に向けた買い物を行った。移動の路線バスや買い物の支払いでは、現金を大切に扱う様子が見られた。また、半額の品物を選ぶ、残ったお金でデザートを買うなど子供たち自身で工夫して買い物をした。



買い物



夕食(鍋づくり)

#### (4) 夕食(鍋づくり)

買い物で買った具材を基に、親子でオリジナル鍋を作った。子供たち自身が「野菜を切る」「お皿を洗う」などをして、親子で協力しながら鍋づくりに取り組んだ。また食事中は、家族同士の交流が見られた。

#### (5) 語ろう会1・2

普段の生活や子育ての不安や悩み、情報を共有し、親同士がお互いを励まし合うなど交流を深める様子が見られた。

## 【事業2日目】1月26日(日)

### (1) 酪農体験(松下牧場)

牛の「乳搾り」や「餌やり」、「牛舎の掃除」、「バターづくり」などの酪農体験を行った。酪農家の松下さんから乳牛についてや雄牛が肉牛になるまでの話を聞き、親子で酪農体験を楽しみながらも命や食の大切さを学ぶことができた。



酪農体験

昼食  
(富士ミルクランド内のレストラン)

### (2) 昼食(富士ミルクランド内のレストラン)

親子でビーフシチューやハンバーグなどの食事を楽しんだ。残食がほとんどなく、SDGsや命をいただく大切さの意識が高まっていたように見受けられた。

## 5.参加者の声(事後アンケートより) ※原文のとおり

### (1) 子供

- アイスブレイクも楽しかったし、買い物もいろいろなやんで決めて、鍋づくりも楽しかったです。酪農体験はちちしぼりをやってたのしかったです。
- らくのう体験では、ちちしぼりができた事が一番心にのこりました。ぼくじょうの人が、「オスのウシは2年で肉にしてしまう」と聞いたとき、「ああ。私はこんなに大切なものを食べていたのか」と、思いました。これからもご飯を大切にしたいと思いました。
- ふじ山がとてもきれいだった事も良かったです。朝に見たときに、オレンジだったので、びっくりしました。またこんなきれいなふじ山を見たいと思いました。
- みんながいっぱいわらってたのしかったです。ばたあをつくってたのしかったです。おふるもみんなとは違ってうれしかったよ。
- ずっとやりたかったちちしぼりもできてとても楽しかったし、牛とのふれあいやバター作りもできてずっとかんげきの気持ちでした。あさごはんやおひるごはんもごうかでもーってもおいしかったです。こうしてたくさんの人と仲よくなれてとってもうれしい2日間でした。またおうぼしたいです!!ありがとうございました!!

### (2) 親

- 親子の時間、母同士の時間、子供同士また子供と家族以外の大人の方との時間、全てバランスよくとってくださっていて、とても心地よく過ごさせていただけました。ありがとうございました。
- 子供が自分で「鍋を作るよ」と前日くらいから楽しみにしていました。それまでは、決められた材料を使って作ると思っていたようなのですが、材料も自分で考えて買い物も自分で行くところ、とても楽しみになったようです。実際作ってみて、とても楽しかったようでした。
- 初日、午後からという開始時間、助かりました。親子が離れて活動を行う、というプログラムが用意されていて、とても貴重な体験ができました。お買い物、という内容、要素的にもとても良かったです!
- 子供が母から離れて、家族以外の方と買い物に行った事、大きなお兄さん、お姉さん、お友達と夜遊んだ時間、母はひとり親の方との交流、牛のお世話も、バター作りも初めてでした。子にとっても、母にとっても、とても貴重な体験をさせていただきとても感謝しています。

## 6.成果と課題

### (1) アンケート結果 (子供12名・親9名 回収率91%)

事業全体の満足度(子供12名)			
満足 10名(83%)	やや満足 2名(17%)	やや不満 0名(0%)	不満 0名(0%)

事業全体の満足度(親9名)			
満足 6名(67%)	やや満足 3名(33%)	やや不満 0名(0%)	不満 0名(0%)

## (2) 成果

「1.趣旨」から、成果を考察する。

### ○普段では体験できない活動に挑戦する

⇒子供だけで行く「買い物」や、親子で作る「鍋づくり」、牛やヤギなどと触れ合う「酪農体験」は参加者のアンケートからも普段体験できない活動であることが分かった。中でも「酪農体験」では、最初は子供たちが牛との触れ合いに抵抗があったが、徐々に触ったり餌をあげたりしていた。

### ○規則正しい生活習慣

⇒「食」に関わる活動プログラムが多く、「自分で買って作ったもの（買い物、鍋づくり）」「生き物と触れ合って感じたこと（酪農体験）」の意識から、残さず食べようとする姿勢が見られた。事業1週間後のアンケートでは、「お手伝いを率先してくれるようになった」「自分から起床できるようになった」などの回答があり、生活習慣の改善が見られた家族があったと考える。

### ○所内外の活動を通じた成功・失敗体験から学び自立していく上での自信を育む

⇒東京都教職員研修センターが示す「子供の自尊感情の傾向を把握する方法と指導のポイント」の自尊感情測定尺度を用いて、本事業の参加者の子供に合わせたアンケートを作成した。結果は、「自己主張・自己決定」の項目の「自分の中にはたくさんの可能性があると思う」という問いの数値が事業前より13%上昇していた。また、活動中も「〇〇できるようになった」などの会話も見られ、子供が自立する上での自信につながったと考える。

### ○ひとり親の悩みを同じ境遇の親同士で共有する

⇒「語ろう会1・2」では、親のみの空間でそれぞれの悩みを打ち明けている様子が見られた。保護者のアンケートからも「親子が離れる時間」「(親同士が)交流する機会」のバランスが良かったという評価だった。

### ○子供との交流を通して親子の絆を深める

⇒特に「鍋づくり」では、親子で作る活動プログラムを企画した。親子で仲良く話す様子や、各自のスマートフォンを使い親子で撮影する様子が見られた。アンケートでは、「親でも初めての体験ばかりであった」との回答もあり、様々な体験を共に行うことで親子の絆を深められたと考える。

## (3) 課題

### ●余裕を持った時間設定

⇒「2日目の朝の起床～バスの乗車まで忙しかった」との意見が参加者アンケートにあった。想定よりも各活動プログラムに時間を費やしたため、余裕を持ったプログラム計画や、活動プログラムの精選が課題である。

### ●参加者とボランティアの関わり方

⇒参加者アンケートでは、子供とボランティアの関わりにご好評をいただいた回答が多い反面、中には「(横の)関わりが少なかった」や子供の主体的な活動の機会をより求める意見もあった。本事業では、親子の時間が多くなるようプログラムの計画をしたが、今後は子供と親が離れて活動するといった「子供だけ」と「親同士」の時間を増やすことを検討する余地がある。